

2023年度日本工学院専門学校

建築学科

高度建築計画

対象	3 年次	開講期	後期	区分	必修	種別	講義	時間数	30	単位	2
担当教員	平山 浩樹			実務経験	有	職種	建築設計／一級建築士				

担当教員紹介

組織設計事務所の建築士として２８年間、建築の設計及び監理に携わる。スポーツ施設、集合住宅、大学、庁舎などの建築を担当し、基本計画、基本設計、実施設計、工事監理など建築のプロセスにおける実務経験を持つ。

授業概要

建築計画の主流を復習しながら、さらに深く学習を進めていく。建築計画において、特に現代建築について様々な事例を基にして学習をする。最終的には、世界の現代建築の潮流とこれからの日本の建築について学ぶことを学習目的とする。

到達目標

この科目では、上記の講義を基にして、建築を知らない人にも、現代建築の潮流については、少しでも自分の言葉で論ずることができることを到達目標としている。

授業方法

- 基本操作を学ぶ回では、教員が解説を行い、学生は解説と同じように作業を行う
- 解説と作業を繰り返し行い、スキルを身に着ける
- 応用回では、今まで身に着けたスキルを用いて、各自モデリングを行う
- 動画等を用いて、最新技術の紹介を行う

成績評価方法

試験・課題	50%	試験と課題を総合的に評価する
小テスト	10%	授業内容の理解度を確認するために実施する
レポート	10%	授業内容の理解度を確認するために実施する
成果発表（口頭・実技）	20%	授業時間内に行われる発表方法、内容について評価する
平常点	10%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する

履修上の注意

- 全ての課題提出かつ3/4以上の出席を持って合格とする。理由のない遅刻や欠席は認めない。
- 遅刻、早退、途中退室等の場合は、必ず教員に報告すること。
- 授業中の私語や受講態度、および教室での飲食、器物損壊などには厳しく対処する。
- 課題の進捗状況に応じて、板書等で説明したり、資料を配布する。

教科書教材

資料など配布

回数	授業計画
第1回	イントロダクション 建築の根源的意味とコンセプト
第2回	住宅 住宅 食寝分離 、個室からの脱却、シルバーハット
第3回	集合住宅 集合住宅 脱NLDKスタイル、岐阜県営団地妹島和世棟
第4回	集合住宅 集まって住むということ、地域社会兼モデル
第5回	商業建築 オフィスビル他 レンタブル比と建築計画上の構成、乃村工藝社本社ビル、ロイズオブロンドン

2023年度 日本工学院専門学校	
建築学科	
高度建築計画	
第6回	劇場 コンペティション 劇場の構成とコンペティションによる開かれたホール、小田原城下町ホールコンペ
第7回	公共施設について 開かれた行政機関を目指して 他
第8回	美術館 美術館 一筆書きからの脱出、21世紀美術館、青森県立美術館
第9回	図書館 コンピューターの出現と居場所を作る。 仙台メディアテーク
第10回	学校 まちの延長としての学校、打瀬小学校
第11回	体育館 国立代々木屋内競技場
第12回	世界の潮流 世界の建築の潮流
第13回	これからの建築について 最新建築技術紹介・日本の建築のこれから